



佐賀大学教職大学院 広報誌



院生ライフレポート



2025年
第7号(11月)

教職大学院 1年生後期の講義紹介

後期は、各コースで専門性を深める講義が多くありますが、共通必修科目や選択必修科目の講義では、院生全員が集まり学修しています。これらの講義は、自分の専門分野だけでなく、関連する分野や自身のキャリア、データ分析の基礎など、どの研究分野・キャリアでも活用できるスキルを身につける機会となっています。研究分野や世代が異なる仲間との議論や共同作業を通じて、自分の研究を異なる視点から見直したり、新たな発想を得たりする中で、互いに研究へのモチベーションを高め合っています。今回はこれらの講義について紹介します。

共通必修科目「教職キャリアデザインの基礎と課題」

キャリアデザインに関する理論を学びながら、教員として各段階で求められる資質能力や教職の専門性について理解を深めています。内容ごとに役割分担を行い、ペアで調べたことを発表しています。それぞれが自身のキャリアについて内省を深め、教員としてのキャリアをデザインし、その実現に向けて資質や力量を高めています。



共通必修科目「教育相談・学校カウンセリングの基礎と課題」

教育の諸課題（いじめや不登校等）に対応できるように、応用行動分析の理論を学んでいます。グループワークを通して、「自分に合った褒められ方・叱られ方」、「行動を継続するためには」など、具体的なテーマについて議論することで、児童生徒の心理的理解や支援方法について考えています。

選択必修科目「学校教育と教員のあり方に関する調査方法論」

学校や教員が抱える課題を的確に分析・理解し、学校改善につなげるために、データ収集や活用に関するスキルを学んでいます。前半では、量的調査方法論を根拠として、データをもとにした分析の手法を学修しています。後半は、質的調査方法論について、主にケース・スタディにおけるインタビューや観察等の分析の手法を学修し、理解を深めていきます。

